

## 第 66 回日本リハビリテーション医学会関東地方会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会



○日時： 2017 年 3 月 25 日（土） 14:20~19:50

○会場： 東京女子医科大学 弥生記念講堂

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1 Tel 03-3353-8111 (代表)

都営大江戸線「若松河田」駅 若松口から徒歩 5 分（一番便利です）

都営大江戸線「牛込柳町」駅 西口より徒歩 5 分

都営新宿線「曙橋」駅 A2 出口より徒歩 8 分

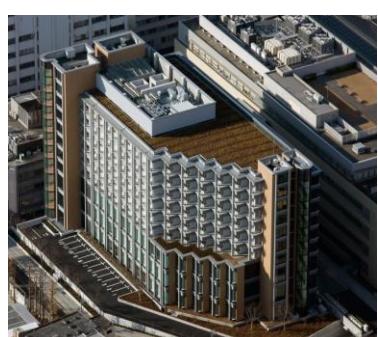
新宿駅西口より都営バス 宿 74、75 系統

早稲田駅より都営バス 早 81 系統

高田馬場駅より都営バス 高 81 系統

「東京女子医大前」下車

○会長：東京女子医科大学リハビリテーション科 教授 猪飼哲夫



参加費等：地方会参加費 医師 2,000 円、メディカルスタッフ 1,000 円、学生無料

日本リハビリテーション医学会生涯教育研修会 1 講演 1,000 円

日本整形外科学会教育研修会 1 講演 1,000 円

単位認定：地方会参加 10 単位（筆頭演者はさらに年度末自己申請により 1 演題 10 単位）

生涯教育研修会 1 講演 10 単位（2 講演 20 単位）

日本整形外科学会教育研修会 1 講演 1 単位

必須分野：講演①；[7, 13], Re 講演②[8, 13], Re

日本整形外科学会単位申請には I C 会員カードが必要ですので、必ずご持参ください。

利益相反について：日本リハビリテーション医学会が定める「利益相反の管理に関する申し合わせ」に従ってください。利益相反がない場合も、スライドで表示してください。



## 第 66 回日本リハビリテーション医学会関東地方会

地方会担当幹事：猪飼 哲夫

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1 Tel 03-3353-8111（代表）Fax 03-5269-7639

東京女子医科大学 リハビリテーション科

E-mail [reha.bx@twmu.ac.jp](mailto:reha.bx@twmu.ac.jp)

担当事務：菅野

### 参加者の皆様へ

プログラムは当日配布致しませんので、必ずご持参ください。

- 受付にて参加費 2,000 円と引換えに領収書と青色の受講カードをお受け取りください。半券を外してお手元に保存し、必要事項を記入したカードを専用の箱にお入れください。
- 生涯教育研修会にご参加の方は、1 講演につき 1,000 円をお支払い頂き、領収書をお受け取りください。専門医・認定臨床医資格更新のための単位取得をご希望の方は、白色の受講カードをお受け取り下さい。認定臨床医受験資格取得のための単位取得をご希望の方は、お申し出の上、オレンジ色の受講カードをお受け取りください。いずれの受講カードも、半券をお手元に保存し、記入済みのカードは講演終了後、専用の箱にお入れください。
- 日本整形外科学会教育研修会にご参加の方は、1 講演につき受講料 1,000 円をお支払いいただき、領収書と受講引換券をお受け取りください。講演会に入場の際、受講引換券を係員に渡し、IC 会員カードをカードリーダーにかざしてください。

## 一般演題ご発表の先生方へ

### 1. 発表方法に関して

- (1) 発表時間は6分、討論2分です。発表時間は厳守してください。
- (2) 発表はPCを使います。スライドやビデオは使用できませんのでご注意下さい。
- (3) 発表データは、USBメモリ、CD-R、PC本体のうちいずれかの様式でお持込みください。

### 2. 講演開始30分前までに、PC受付にて発表データの試写と受付を済ませてください。

### 3. USBメモリ・CD-Rをお持込みの方への注意事項

- (1) ウィルスチェックは最新の定義ファイルを用いて必ず行っておいてください。
- (2) ソフトはWindows版PowerPoint2010または2013をご使用ください。  
\*Macintoshをご使用の方はご自身のPC本体を持参してください。
- (3) フォントはOS標準のもののみをご使用ください。
- (4) 動画ファイルをご使用の場合、再生に問題のないご自身のPC本体をお持込みになることを推奨します。

### 4. ノートPCをお持込みの方への注意事項

- (1) バックアップとして必ずUSBメモリ等をご持参ください。
- (2) プロジェクターとの接続ケーブルはD-sub15ピンです。PCによっては専用のコネクタが必要になりますので、必ずご持参ください。
- (3) コンセント用電源アダプタを必ずご持参ください。
- (4) 持ち込みPCのスクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除願います。

### 5. 日本リハビリテーション医学会誌「Jpn J Rehabil Med.」掲載用の抄録原稿『演題名、演者名、演者所属、抄録（本文400字以内）』を作成し、デジタルデータとして当日お持ちいただくか、3月24日までに事務局宛（[reha.bx@tamu.ac.jp](mailto:reha.bx@tamu.ac.jp)）に提出してください。

### 6. 発表が次の順番になりましたら、次演者席にて待機してください。

# 第66回日本リハビリテーション医学会

## 関東地方会学術集会 プログラム

【一般演題：第1部】 14：20～15：05

座長： 西 将則（新東京病院リハビリテーション科）

### 1. 小児脳腫瘍経験者の知的機能

国立研究開発法人国立成育医療研究センターリハビリテーション科

○上久保毅

はしもとクリニック 経堂 橋本圭司

東京女子医科大学リハビリテーション科 猪飼哲夫

### 2. 関節リウマチに対する両側同時足趾形成術後の13度前傾ポール歩行リハビリテーションの経験

篠ノ井総合病院リウマチ膠原病科 ○小野静一

篠ノ井総合病院整形外科 外立裕之、高梨誠司、丸山正昭

### 3. 超高齢者大腿骨頸部骨折患者における予後影響因子

西大宮病院リハビリテーション科 ○牛山隆、白石哲也

### 4. 当院における嚥下障害治療の試み

戸田中央リハビリテーション病院 ○岩間洋亮、杉徳臣、白根雅之、西野誠一、佐藤信也

### 5. 胸部上部食道がん術後に、両側反回神経麻痺、食道入口部開大不全を認めた一例

独立行政法人国立病院機構埼玉病院リハビリテーション科 ○櫛田幸

【一般演題：第2部】 15：05～15：50

座長： 上久保 毅（国立成育医療研究センターリハビリテーション科）

### 6. 小児の自律神経ニューロパシーに対するリハビリテーションの経験

国立病院機構東京医療センター ○山本幸、古野薫、栗原由佳、大橋志保

7. 急性リチウム中毒により四肢体幹失調を来たした患者に対するリハビリテーションの経験

横浜市立大学附属市民総合医療センター リハビリテーション科 ○立花佳枝、菊地尚久、若林秀隆

横浜市立大学医学部リハビリテーション科学教室 中村 健

8. 記憶障害の改善が得られた低血糖脳症の一例

東京慈恵会医科大学附属第三病院 リハビリテーション科 ○秋元秀昭、山田尚基、福井遼太、羽田拓也、渡邊修

東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座 安保雅博

9. リハビリテーションによる機能回復を画像で確認し得たウェルニッケ失語の一例

川口市立医療センター 神経内科 ○長沼朋佳、荒木敏彦

川口市立医療センター リハビリテーション科 石井由起

10. 脳出血患者のリハビリテーションに対する視床痛の影響について

<sup>1)</sup>介護老人保健施設つくばリハビリテーションセンター

<sup>2)</sup>茨城県立医療大学付属病院 ○伊藤達夫<sup>1) 2)</sup>、河野豊<sup>2)</sup>、中井啓<sup>2)</sup>、松下明<sup>2)</sup>、齋藤和美<sup>2)</sup>、大瀬寛高<sup>2)</sup>

《休憩》

【一般演題：第3部】 16:05～16:50

座長：岡田 真明（公立昭和病院リハビリテーション科）

11. 脳卒中慢性期患者に対するペダリング訓練の歩行機能改善効果

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 ○辻野めぐみ、川上途行、須田万豊、田代祥一、辻哲也、里宇明元

順天堂大学大学院医学研究科リハビリテーション医学 藤原俊之

12. 肩関節痛を有する脳卒中片麻痺患者における肩関節MRI所見の縦断的研究

済生会神奈川県病院 リハビリテーション科 ○新城吾朗、岡阿沙子、朝倉めぐみ  
西田大輔、江端広樹

慶應義塾大学リハビリテーション医学教室 村岡香織

13. 脳卒中後遺症患者に対して自動車教習所と運転再開の支援を行った一例

東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座 ○福井遼太、羽田拓也、秋元秀昭、山田尚基、渡邊修、安保雅博

14. 低活動状態である統合失調症患者に対する歩行訓練の有効性～活動性と運動機能について～

横浜市立大学医学部リハビリテーション科学教室 ○荒川英樹、中村 健

15. 自力歩行可能な Guillain-Barre syndrome 患者の回復期リハビリテーションの必要性：移動能力以外の検討

昭和大学医学部リハビリテーション医学講座 ○和田義敬、飯島伸介、星 忠成、田中雅子、請川 大、正岡智和、川手信行

【一般演題：第4部】 16：50～17：40

座長：和田 太（東京女子医科大学リハビリテーション科）

16. A型ボツリヌス毒素注射を併用した運動療法により下肢感覚機能の改善した脳卒中慢性期患者の一例～Somatosensory Evoked Potential での評価～

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 ○益田結子、田代祥一、川上途行、須田万豊、水野勝広、大高洋平、辻哲也、里宇明元

17. 左下腿切断後に義足を作製し、歩行再獲得に至った Charcot-Marie-Tooth 病の一例

東京湾岸リハビリテーション病院リハビリテーション科 ○梶 兼太郎、近藤国嗣、松浦大輔、補永 薫

18. 先天性上肢欠損乳児に対する義手処方の経験

東京大学医学部附属病院リハビリテーション科 ○藤原清香、真野浩志、芳賀信彦

19. 後天性血友病による後腹膜血腫にて大腿神経麻痺をきたした一例

群馬大学医学部附属病院リハビリテーション部 ○矢島賢司、井上智貴、和田直樹

20. ゴール設定に配慮を要する、慢性呼吸不全一症例と狭心症一症例

戸田中央リハビリテーション病院 ○佐藤信也、杉 徳臣、岩間洋亮、西野誠一

21. 当院におけるがん患者リハビリテーション開始後の現状と課題

東京慈恵会医科大学 葛飾医療センターリハビリテーション科 ○又吉由紀子、三並正芳、小林一成

東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座 安保雅博

《休憩》

**日本リハビリテーション医学会**  
**専門医・臨床認定医生涯教育研修会**

17:50～19:50

座長：猪飼 哲夫（東京女子医科大学リハビリテーション科）

講演1

「脳神経機能外科の進歩」

東京女子医科大学脳神経外科 臨床教授 平 孝臣

講演2

「リハビリテーションにおけるロボットのこれから」

佐賀大学医学部附属病院リハビリテーション科 診療教授 浅見 豊子